

若い目

成長できた高校生活

福山高3年

原口 結衣

高校生活で心に残っていることが二つあります。一つは全校朝会の校歌のピアノ伴奏を自ら引き受けたことです。

人前に出ることは好きでしたが、初めて弾いた時は緊張し過ぎて指が止まり、その場を逃げ出したい気持ちになりました。しかし、失敗をそのまま終わらせて

はいけないと思い、友達の前で演奏するなど段階を踏んでから、次の全校朝会に挑みました。

もう一つは、体育祭の応援団長に立候補したことです。私は「3年生全員が団結する」を目標に、応援団員で話し合っって方向性を決め、夏休みをフルに使って練習しました。当日は3年生の心が一つにまとまったと感ずることができ、とてもうれしかったです。

中学校までは、自分が挑戦しなくても、誰かが何かをしてくれました。しかし、高校での経験はバネに、卒業後はお客に感動を与えられる美容師を目指し、夢の第一歩を力強く踏みだしたいと思います。

福山高は小規模校のため、一人一人が挑戦するチャンスに恵まれています。チャレンジした結果、失敗も成功も経験でき、自信が

(霧島市)

11月の若い目賞

福山高校(霧島市)

川辺中学校(南九州市)

東谷山小学校(鹿児島市)

賞は投稿や採用の数ではなく、作文の内容や取り組みの継続性などを、南日本新聞社読者センターのひろば担当が総合的に判断しました。毎月の「若い目特集」で発表します。